

大阪損保革新懇講演会2020-2

2020.10.2(金) PM6:30~ 日宝道修町ビル308
& 「アィクル」の部屋

大阪都構想で何が問われているのか —破綻か、再生か、大阪の将来が今秋で決まる—

大阪でも、新型コロナ感染者が毎日のように増大しています。府・市の総力を挙げたコロナ対策が、今、求められています。にもかかわらず、大阪維新は、大阪市の解体…都構想に向けた住民投票…を強行しようとしています。コロナ禍の中、世論を二分する「住民投票」を持ち込むことは許されないはずで

す。今一度、大阪市の解体の本質は何か、何がもたらされようとしているのか。さらに、ポスト・コロナを見据えた、「新しい大阪像」として何が求められているのかを学ぶ場として、奈良女子大学・中山徹教授に講演をお願いしました。

— 奈良女子大学教授：中山 徹 さん —

なかやま とおる 専門分野：都市計画学

1959年大阪（豊中）生まれ

京都大学大学院博士課程修了、工学博士、一級建築士

<近著—共著>

『「都構想」で大阪市はなくなります なぜ?いま?暮らしはどうなる?』

大阪自治体問題研究所、2020年

<主な著書>

『人口減少時代のまちづくり』自治体研究社、2010年

『よくわかる、子ども・子育て新システム』かもがわ出版、2010年

『子育て支援システムと保育所・幼稚園・学童保育』かもがわ出版、2005年

『地域社会と経済の再生』新日本出版社、2004年

『公共事業改革の基本方向』新日本出版社、2001年

『地域経済は再生できるか』新日本出版社、1999年

『公共事業依存国家』自治体研究社、1998年

『行政の不良資産』自治体研究社、1996年



参加費1000円

※懇親会は行いません

※コロナの状況によっては人数制限をすることがあります

◆マスクの着用、手指の消毒をお願いします

